

2017.08.25 平成29年度 創造都市政策セミナーin京都 (於：京都市国際交流会館)

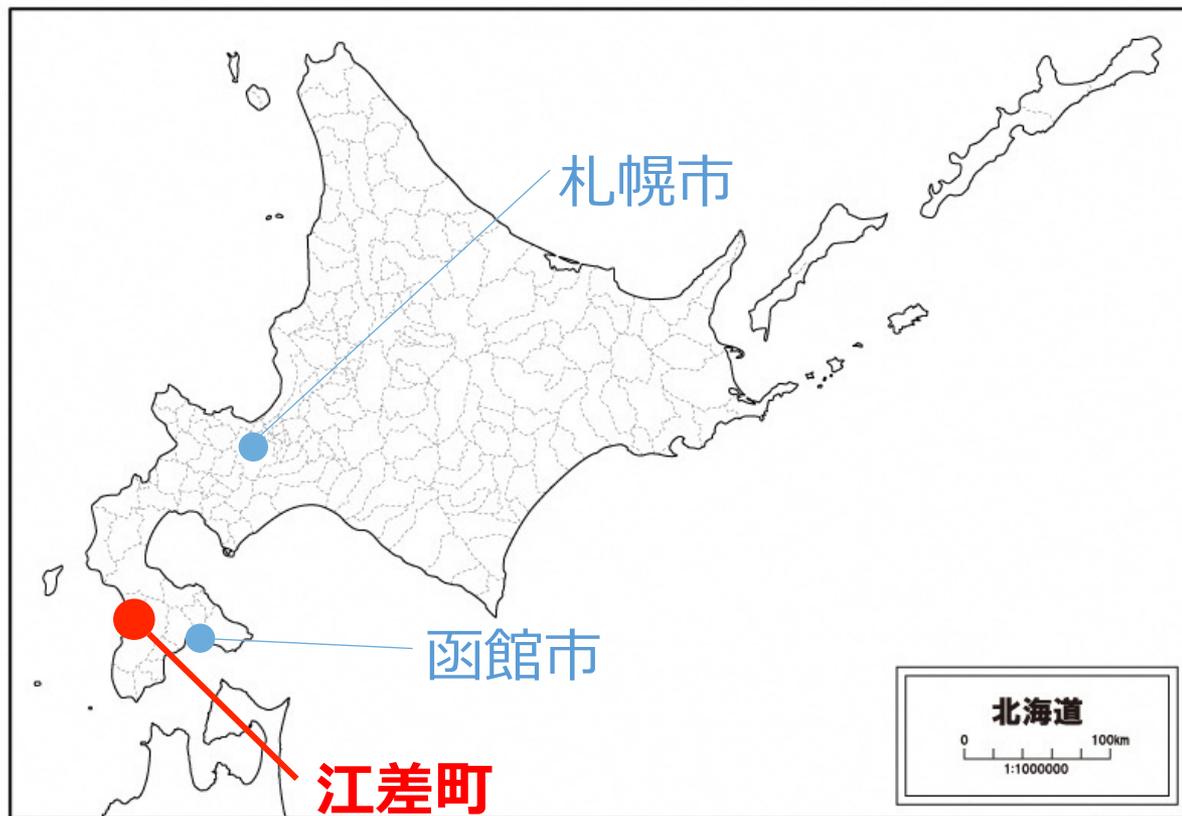
文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）取組紹介

北海道 江差町の取組

江差町長 照井誉之介

江差町の紹介

江差町の紹介



面積：109.57平米

人口：約8,000人

戸数：約4,400戸

交通

函館市

函館空港より、車で約2時間

新函館北斗駅より、車で約1時間

札幌市

車で約5時間

江差町の紹介

江戸時代中期から

**ニシン漁とニシン加工品の交易
ヒバ材の伐り出し**

で栄える。



江差町の紹介

平成29年4月に「日本遺産」認定

**江差の五月は江戸にもない
－ニシンの繁栄が息づく町－**



取組の具体例①

歴史を生かすまちづくり事業

歴史を生かすまちづくり事業

- ▼昭和63年、北海道が「北海道新長期総合計画」で戦略プロジェクト「歴史を生かすまちづくり」を掲げる。
- ▼平成元年、江差町内で特に歴史的資源が集中している「いにしえ街道」がモデル地区の指定を受ける。
- ▼官が街道整備などの公共事業を行い、平成16年に完了。
- ▼同時進行で、住民による野外劇・手拭製作・花嫁行列・語り部活動などが行なわれ、現在も引き継がれている。



いにしえ街道



花嫁行列



語り部活動

取組の具体例②

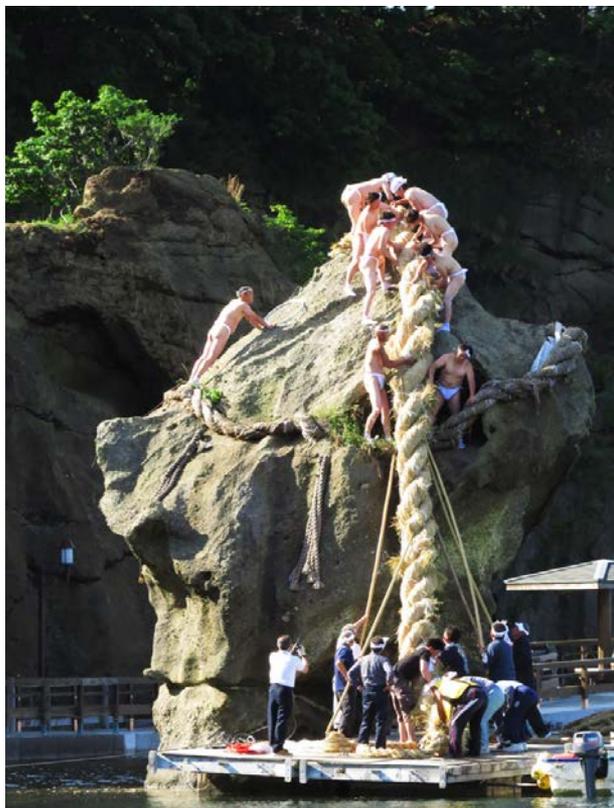
江差三大まつり

江差三大まつり

▼かもめ島まつり

7月の第1土曜日・日曜日

江戸時代からある巖島神社の祭礼に合わせて実施
豊かな自然や文化遺産を活用した催し



江差三大まつり

▼姥神大神宮渡御祭

8月9日～11日に行なわれる姥神大神宮の祭礼

江差出身者の帰省や観光客の訪問により、約4億円以上の経済効果が試算されている

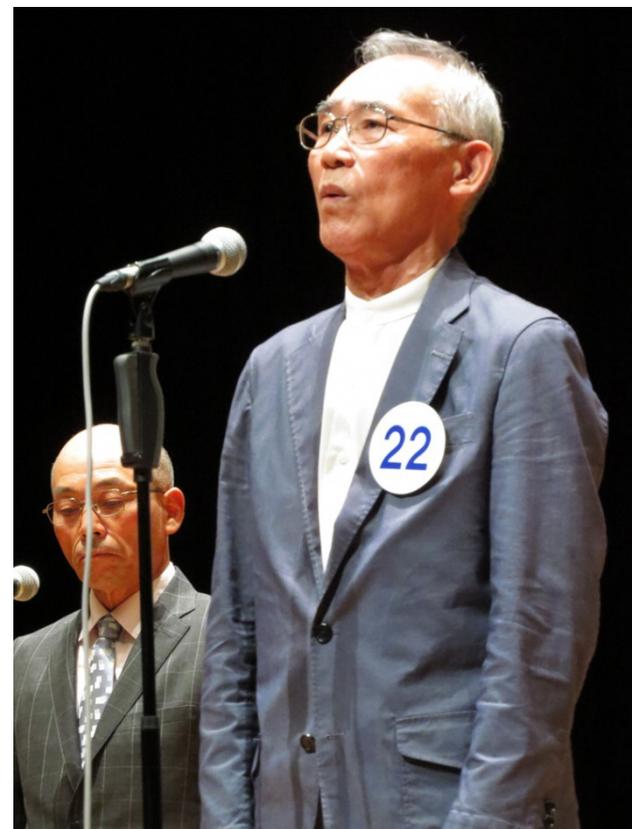


江差三大まつり

▼江差追分全国大会

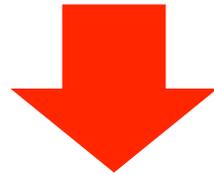
9月第3金・土・日

昭和38年から行なわれており、今年55回目
日本国内のみならず、海外からの参加者も



江差三大まつり

- ▼かもめ島まつり
- ▼姥神大神宮渡御祭
- ▼江差追分全国大会



**地域の文化遺産が、
観光や産業などに横断的に活用され、
地域振興に寄与している。**

取組の具体例③

ヒバ（ヒノキアスナロ）の育成

ヒバ（ヒノキアスナロ）の育成

- ▼大正11年、「ヒノキアスナロ及びアオトドマツ自生地」として国の天然記念物に指定される。
- ▼平成15年、ヒバ（ヒノキアスナロ）を歴史的建造物などの修復に充てるため、林野庁制度の「檜山古事の森」に認定される。
- ▼現在、有志者による育苗活動や、民間企業などの支援も取り入れた植樹活動が行なわれている。



観察会



育苗活動



植樹活動

取組の具体例④

江差追分とアイヌ文化の交流

江差追分とアイヌ文化の交流

- ▼ 「江差追分踊り」の衣装がアイヌ文様であったことから、アイヌ文化継承者との交流に発展。
- ▼ 平成29年6月、アイヌ民族博物館（北海道白老町）において「江差追分」「江差追分踊り」とアイヌの芸能が交流。
- ▼ 平成29年7月、江差町とアイヌ民族博物館は、双方の歴史と伝統文化の継承や活用についての連携協力に関する協定書を締結。



江差追分踊り



アイヌの芸能



協定書締結

取組の具体例⑤

「青函圏」との交流

「青函圏」との交流

- ▼ 10数年前、江差町と津軽半島の民間人同士による交流が始まり、江差町でねぶたづくりが行なわれる。
- ▼ その後、国土交通省の半島振興対策などを活用し、津軽半島だけでなく下北半島との交流も行われ、民俗芸能の交流やヒバ（ヒノキアスナロ）をテーマとした会合が行なわれる。
- ▼ 平成28年3月の北海道新幹線開業を契機に、さらなる交流が行われている。



ねぶた作り



民俗芸能の交流



ヒバサミット

まとめ

まとめ

- ▼江差町には、数多くの有形・無形の文化遺産が保存伝承されている。
- ▼また、他地域や異文化との交流が新たに取り組まれている。
- ▼それらは、町民たちが楽しみながら取り組んでおり、観光や産業などの地域振興に活用している。
- ▼江差町では、地域に伝わる文化遺産や、新たな交流を通じてまちづくりが進められており、そこには老若男女が生き生きと暮らす姿がある。

文化が
残ってるんじゃない。
生きているんだ。



江差町 美江

えさし
EE MACHI, ESASHI



歴史が
II。

